

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会
令和4年度第8回 理事会 議事録

日時：令和4年8月24日（水）7:30-8:00

場所：山梨大学大学院整形外科学講座／Zoom

【出席した理事】伊東 学、大鳥 精司、小田 剛紀、金村 徳相、川口 善治、竹下 克志、
田中 信弘、土井田 稔、中村 雅也、西田 康太郎、根尾 昌志、橋爪 洋、
波呂 浩孝

【出席した監事】小澤 浩司、播広谷 勝三

【議事の経過の要領及びその結果】

会議は理事長・波呂浩孝が議長となり、web で行われた。

審議・決議事項

1. METRxTMエンドスコープアタッチメント欠品に関する件

メドトロニックソファモアダネック株式会社から、METRxTMエンドスコープアタッチメントの複数の単回使用許可製品が、原材料不足のため欠品しているという報告があり、10月中旬に入荷見込みであることを確認した。このことに対して、和歌山県立医科大学の山田教授から、単回使用許可製品の供給が難しくなることは今後も起こりうるため、その場合には、病院内で洗浄・再滅菌して再利用することを学会として認めてほしいと依頼があった。

PMDAの資料によると単回使用医療機器の再使用による2つの事故事例が紹介されており、再使用に関しては厳しく注意している。また、当該企業であるメドトロニックソファモアダネック株式会社からも、本製品の院内での滅菌再使用は許可できない旨の見解を確認している。

今後同様のことが起こりえる非常に重要な問題であることから、理事会の総意として回答したいとして各理事の意見を求めた。

以下のような議論がなされた。

- ・複数の理事が発言し、すべてが「期間が限定的であるうえ他の術式で対応可能であるので、術式を変更して対応すべきである。特に、学会として単回使用医療機器の使用を許可するようなことはできない」という意見であった。それに対する反対意見は無かった。
- ・また今回の件は内視鏡についてなので、JSSR というより日整会のマターではないかという意見があった。

上記の結果、JSSR 理事会としては単回使用医療機器の再使用は推奨できないことを結論とし、波呂

理事長が、山田教授への回答文を作成し理事会メールリストで確認後、回答することとした。
また、竹下理事には、日整会でも検討してもらえるように依頼がなされた。

以上

令和4年8月24日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 波呂浩孝

監事 小澤浩司

監事 播広谷勝三